

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【札幌市】

1 実践テーマ	【 I 】
2 実施対象者	札幌市立美しが丘小学校 第3学年 50名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（社会、道徳） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	札幌オリンピックミュージアムで体験学習を行ったり、オリンピックの体験談などを聞いたりすることで、アジアで初めて冬季オリンピック大会を開催した「ふるさと札幌」を愛する心をもつ。
5 取組内容	○指導計画【3時間扱い】 ・道徳の時間：1時間 ◆私たちの道徳（小学校3・4年）「自分を高めて」 「やろうと決めたことは最後まで」の頁を読んで、自分はどのようなことをがんばりたいと思っているかを話し合う。 ・社会科：2時間(10時間扱いの中の) ◆「市の様子」 - 札幌にある施設「札幌オリンピックミュージアム」を見学したり、大倉山ジャンプ台の頂上から札幌市の街の様子を見たりする。そして、社会科で学習したことと比較して考えたり、友達と札幌の街のよさを交流したりする。 ○取組の様子 ・オリンピックの話を聞く



	・ミュージアムを体験する  ・リフトでジャンプ台の頂上へ 
6 主な成果	オリンピックである加藤大平さんから、ノルディック複合競技についての体験談を話していただいたり、競技を通して『目標を決め、努力を続けることの大切さ』について教えてもらったりした。子どもたちは大変興味深く話を聞くことができた。 展示室では、ミュージアムの職員の方から、オリンピックの歴史や理念について詳しい話を聞いたので、今まで知らなかったことがよく分かった。アジアで初めて冬季オリンピックを開催したのが「ふるさと札幌」と知り、自分の住んでいる札幌により愛着をもつことができた。
7 実践において工夫した点	実際に札幌オリンピックミュージアムに行くことで、冬のスポーツに対する児童の興味・関心を高めた。疑似体験をすることにより、いろいろな競技を身近に感じるとともに競技に対する関心を喚起した。
8 主な課題等	今回の学習と3年生の学習で一番つながりの深い学習は、社会科の「市の様子」(「しょうかいポスターをつくろう」を含み10時間扱い)である。「市の様子」の学習は、6月から7月に行う学習のため、今回の『札幌オリンピックミュージアムを活用した学習』と時期が離れすぎてしまった。そのため、「市の様子」の学習で札幌市にある施設を調べたり、藻岩山から札幌の街並みを眺望して札幌の土地の様子や使われ方を調べたりしたことを結び付けるのが少し難しかった。
9 今後の取組について	経費や講師の確保等、持続可能な仕組みづくりを検討している。今後、『札幌オリンピックミュージアムを活用した学習』と「市の様子」の学習と関連付けて指導できるよう計画を立てていきたい。